



## 月刊バイブル（世界のベストセラー、聖書のトリビア）

### 第 39 号

発行：レムナントキリスト教会

価格：100円（送料込みで200円）

### 〔目次〕

- ◎ 聖書からのメッセージ：「真理であるキリスト」エレミヤ
- ◎ 聖書の中の人々「箱舟とノア」
- ◎ イエス・キリストに出会う「総督ポンテオ・ピラトとイエス」
- ◎ キリストを信じた体験談「掃除機のフィルター」 by S
- ◎ 聖書の教えのエッセンス
- ◎ 聖書に関する有名人のことば： アブラハム・リンカーン

#### <聖書からのメッセージ>

### 「真理であるキリスト」

by エレミヤ

ヨハネ14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

上記テキストにあるようにキリストはご自身を「私は..真理である」として、真理に関して語っています。このことを本日は考えてみましょう。真理とは何か、というと哲学めいた質問になりますが、真理の意味合いは、本物、正解という意味あいです。英語で真理はtruthとありますが、似たことば、trueはテストの回答の正誤の正、正解を表すことばです。ですので、真理は本物という意味あいであり、反対語は偽物、偽りということになります。世の中には、うまい話、儲かる話、都合の良い話がありますが、それが真理であり、本物かはたまた偽者、インチキかどうかということを見極めることは大事です。

以前豊田商事という会社が有名になったことがあります。ここにお金を預ければ、10%とか20%とかすごい利子がつく、ということで多くの人がお金を預けたものです。この話が本当なら、100万円預ければ、10万円から20万円もの利子を受け取れる、ということで大変なもうけになるはずなのですが、残念ながら、これはインチキな話でした。そうであるがゆえに預けた人は利息どころか元金も返ってこないで、大きな損を抱えてしまった、ということでした。そのようなわけで私たちは良い話、自分にとって、都合の良い話であってもそれをうのみにせず、インチキにひっかからず、正しい本物すなわち、真理を探すべきなのです。

#### <もっとも大事なことは永遠の命>

さて、お金をだましとられることも結構な不幸ですが、しかし、最悪というわけでもありません。もっと大事なことがあります。その大事なことにに関してキリストは以下の様に語ります。

## 「真理であるキリスト」 by エレミヤ

マタイ16：26人は、たとい全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありましょう。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。

ここでキリストはたとえ私たちが全世界を自分ひとりで所有するような大王、世界総督となったとしても、それでも自分の命を失ったら何の得があるか、としてもっとも大事なことは自分の命であることを語ります。ですので、私たちは自分の命のことに注意すべきであり、死後どのような世界へ行くのか、どのようにしたら永遠の命を得ることができるのか、ということに専心すべきである、ことがわかるのです。お金に関して偽物をつかんだり、インチキをつかむことも悲惨ですが、もっとも悲惨なのは、死後の命や自分の得るべき永遠の命に関して偽りをつかみ、インチキをつかむことがもっとも不幸であることがわかるのです。そして、このことに関して我々は本物、すなわち、真理をつかむべきなのです。

### <永遠の命に関してあらゆる偽り、偽者が横行する>

そして不思議なことですが、このこと、私たちの命に関することがとても尊いことであるがゆえに、この面すなわち死後のことや、正しい死後の世界に関してあらゆる偽りや、おかしい教えがはびこっているように思えます。すなわち、この面においても私たちは正しい正解、真理を正しく探すべきなのです。

死後のことに関して、偽りの最たるものは進化論でしょうか。進化論は人は偶然に生まれたものに過ぎず、世界には物質しか存在せず、当然死後の世界など存在せず、永遠の命などは否定します。そしてこの教えは日本では当然の様に学校で教えられ、我々はこの教えは真理であり、正しい教えだと有無をいわさず、教え込まれているわけなのです。しか

し、それは本当なのでしょうか？真理なのでしょうか？この原稿ではスペースの関係で多くの議論をすることはできませんが、本日は一つだけ、確率に関して、進化論は偽りであることを見たいと思います。進化論はどの面から見ても誤りだらけなのですが、本日は確率的に正しくない、真理でないということを見たいのです。

20個のサイコロにアルファベットを書きます。サイコロをランダムに投げてそれがみな、アルファベット順に並ぶ確率は $1/2.4 \times 10^{18}$ という確率になります。そして人には206個の骨があります。200個の骨がすべて正しい順番に並ぶ確率は10の375乗分の1という低い確率になります。ちなみに、10の50乗分の1を超えともう確率的にはありえない数字だということです。ですので、我々にとっては普通のできごと、人間の骨があるべき位置にある、ということがらもまず偶然にはおき得ないのです。骨の順番が少しでも狂って、たとえば足の指のところに鼻の骨があれば、変な具合になりますし、不都合です。しかし、実際は誰もかれも鼻の位置に鼻があります。そして、それは、偶然ではありえないのです。そうではなくて、人をデザインし、設計し、創造した方を考えない限り、ありえないのです。ですから、聖書のいう記述、すなわち人も動物も植物も神により創造されたと考えることが正しく正解であり、真理なのです。ですから、骨の確率一つを考えても進化論の言う偶然などはありえないことがわかるのです。このように、進化論は正解でも正しい教えでも真理でもありません。私たちが、もっとも大事な自分の命や永遠を託すに足る、信頼すべき教えではないのです。

### <神はあらゆる方法で聖書に真理が書かれていることを説明している>

聖書にこそ真理があります。そして、私の理解では神は聖書を通して、神の説明責任を

## 「真理であるキリスト」 by エレミヤ

果たしておられ、誰でもその人が真理を捜し求めるつもりがあるなら、真理に出会える道を開いておられるのです。以下のことばのとおりです。

ロマ 1:18 というのは、不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。

1:19 なぜなら、神について知りうることは、彼らに明らかであるからです。それは神が明らかにされたのです。

1:20 神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。

確かに神は見えない方ですが、しかし、それであるから、といて神を信じない、認めない、という人に理屈があるとはいえない、と聖書は語ります。逆に神の創造された被造物すなわち、神の作られた人や、魚、植物、動物の複雑さ、巧妙さを通して、その創り主である神の性質や性格をうかがい知ることができますと語ります。それゆえ、見えないからといて神の存在を否定する人々には弁解の余地がないことをこの箇所は語っているのです。

レオナルドダビンチは昔の人ですので、今の我々は誰一人実際に会った人はありません。しかし、彼の描いたモナリザなどの絵を通して、私たちは彼の画家としての力量、さらに彼の性格などさえ、うかがい知ることができます。緻密で精巧でデザインのしっかりした絵を見て彼の力量に感嘆したりするのです。誰もこの絵が軽率に描かれた、まして偶然に描かれたとは思わないでしょう。しかし、どんなにうまいモナリザの絵でもしよせん、それは絵に過ぎないともいえます。それは本物の人間でも女性でもないのです。本物の人間や女性は描かれた絵よりさらに複雑、繊細、

高級な存在です。ですから一枚の絵でさえそれを描きあげるのは偶然にできないことを知っている私たちがそれより、さらに複雑な人間に関して、それは偶然にできた、進化したなどと信じるのはまことに愚かなことであると知しましょう。

以前書きましたように、聖書は、神によって靈感された本であり、人の書いた本と異なります。人が書いた本と異なる大きな違いはこの本が未来に関して語り、預言し、しかもそれらの預言がみなことごとく的中してきた、という事実です。未来を預言する人は時々いますが、当たったためしはありません。以前、ノストラダムスという人の本が有名になり、1999年7の月に恐怖の大王が空からやってくる、ということで大騒ぎになったことがありますが、結局何もおきませんでした。かくのごとく人が未来を予測し、しかも実現することは難しいのです。

しかし、それらの本と比べるなら聖書の預言的中率は、まさに驚異的です。未来を唯一知っておられる方、神によって書かれた本としか思えません。たとえば、イエスキリストの生涯に関しても300以上の預言が成就しています。その生誕の場所、処女から生まれること、友に裏切られること、などすべてが預言されたように、成就しています。このような本は他に存在しません。繰り返しますが、神はその説明責任を果たしておられるのです。そしてその同じ聖書が、イエス・キリストに関してこの方が真理すなわち、正解、本物だと語っているのです。この方の声に耳を傾けましょう。—以上—



モナリザ

## 聖書の中の人々「箱舟とノア」

ノアという名前やノアの箱舟という言葉は、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。このノアについては、旧約聖書の創世記6章～10章に記されています。創造主である神様がアダムとエバを造られて以降、人類が世界中に増え広がりました。しかしアダムとエバが神に逆らった結果、罪が入った人類はさらに悪が増大し、地には暴虐が満ち、人はどんどん墮落していきました。

しかしノアだけは神の心にかなう者でした。創世記6；9「**ノアは、正しい人であってその時代にあっても、全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。**」とあります。神様は洪水によって地上の生き物すべてを滅ぼすことをノアに告げ、ノアとその家族が破滅から守られるよう、箱舟を造るよう命じられました。神様は箱舟の作りについてもノアに細かな指示をされています。その箱舟は、長さ300キュビト(133・5メートル)、幅50キュビト(22・2メートル)、高さ30キュビト(13・3)メートルの3階建てでした。この「長：幅：高=30：5：3」の比率は、現在のタンカーなどを造船する際、最も安定している比率として用いられているものとほぼ同じです。この点からもノアの箱舟は奇想天外なものではないのです。

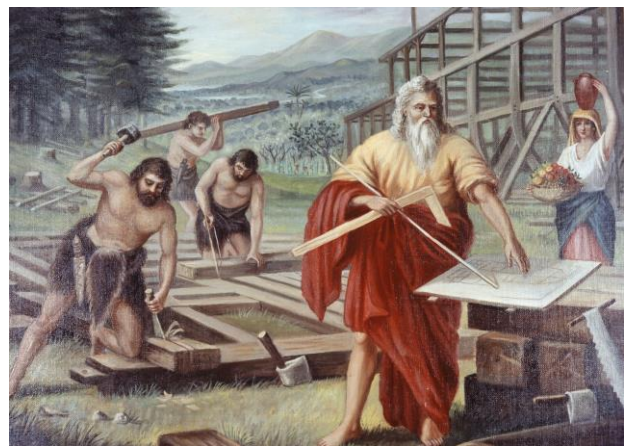
そして神様は、地上の生き物の雄雌のつがいをのせて、ノアの家族と共に生き残るよう命じられました。ノアは忠実に神の命令に従いました。そして大洪水が起こり、40日40夜大雨が降り続き、150日間水は増え続けたのです。「**水は、いよいよ地の上を増し加わり、天の下にあるどの高い山々もすべておおわれた**」(創世記7；19)。そして「**こうして主は、地上のすべての生き物を、人をはじめ、動物、はうもの、空の鳥に至るまで消し去った。それらは地から、消し去られた。ただ、ノアと彼といっしょに箱舟にいたものたちだけが残った。**」(創7；23)とあります。箱舟に乗っていたノアと家族と生き物たちだけが助かったのです。

そして箱舟は「**箱舟は、第七の月の17日に、アララテの山の上にとどまった。**」(創8；4)とあります。

ノアの箱舟については、神話のように思われていますが、1883年トルコのアララテ山頂(標高約4000m)にノアの箱舟とみられる非常に古い大型の船の残骸が発見されています。聖書は、単なる神話や作り話などではないのです。

箱舟に乗っていたノアの家族は、ノアの妻と3人の息子セム、ハム、ヤペテとその妻たちでした。そしてこの三人の息子から世界中の人々が生まれました。セムは、黄色人種の先祖であり、ハムは黒人系、ヤペテは白人系の先祖と言われています。のちに聖書に登場するアブラハムとその子孫のユダヤ人は、セムの子孫で我々日本人と同じ黄色人種なのです。聖書の世界は日本人にとって異国の縁遠いものではありません。人種的にも文化的にも実は私たちと深くかかわっているのです。

そして創造主の神様は、ノアを恐ろしい滅びから救われたように、神を信じ忠実に歩もうとするすべての人々を助けてくださいます。  
—以上—



箱舟を作るノア



## イエス・キリストに出会う「総督ポンテオ・ピラトとイエス」

約2000年前にイエスが十字架刑になったことは歴史的な事実として知られています。無実のイエスが死刑になった裁判の経過を聖書は詳しく記しています。そしてポンテオ・ピラトとはイエスを死刑にすることを許可した人物なのです。当時ユダヤは、ローマ帝国の属国として支配され、ポンテオ・ピラトはローマ帝国から派遣されたユダヤの総督でした。ユダヤはピラトの配下にありました。

ユダヤの宗教指導者達は、イエスが神の御子であることを決して受け入れず、イエスを妬み、殺害しようと狙っていました。彼らは群衆を扇動してローマ兵士や役人を送り、イエスを捕えます。総督ピラトにイエスを死刑にするように訴えるのです。ピラトは、引き出されたイエスに対して質問します。

ヨハネ18；37～38そこでピラトはイエスに言った。「それでは、あなたは王なのですか。」イエスは答えられた。「わたしが王であることは、あなたが言うとおりです。わたしは真理のあかしをするために生まれ、このことのために世にきたのです。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか。」彼はこういつてから、またユダヤ人のところに、出かけて行って、彼らに言った。「私は、あの人には罪を認めません。

ピラトは、イエスが無実であり指導者たちの妬みで訴えられていることを理解していました。そしてイエスを釈放すると提案します。しかしユダヤ人らはイエスを死刑にするように激しく叫びます。

マタイ27：24で「そこでピラトは、自分では手の下しようがなく、かえって暴動になりそうなのを見て」とあります。彼は総督として赴任したユダヤに暴動が起こり、自分の立場が危うくなることを最も恐れました。

「そこでピラトは、そのとき、イエスを十字架につけるため彼らに引き渡した。」(ヨハネ19：16)のです。

ピラトは自分の立場を守るために、イエスを死刑にすることを決めました。総督ピラトは、イエスから、ご自分が神の国の王であり、真理であることを聞きます。しかし彼には全く理解できません。彼は目に見えるこの世のこと、成功や自己実現を求めていました。ピラトには、神の御子イエスや真理よりもローマ帝国の権力と自分の権威が大切でした。彼は人生で最も大切なものが何かわからなかったのです。

目に見えない永遠のいのちや真理よりも、目に見える世界のこと、この世ことがピラトには最重要課題でした。実際の所ピラトは無罪のイエスを死刑にしたくありませんでした。しかし正義や神のことよりも、自分の立場が何より大切なピラトは、神であるイエスを十字架につけます。のちに彼は、失脚し失意のうちに自ら命を絶ったとも言われています。

イエスは「真理に属するものはみなわたしの声に聞き従います。」といわれました。真理を求める人はイエスの言葉を真剣に受け取ります。残念ながらピラトはそうではありませんでした。

第一コリント4；18私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。



ポンテオ・ピラトとイエス

## キリストを信じた体験談『掃除機のフィルター』 by S

半年ほど前のことですが、我が家において数年ぶりに掃除機を購入しました。使い心地が良く、以前に比べて気軽に掃除ができるようになりました。そして取扱説明書によると、フィルターを月に一度洗うことがすすまられていました。なので、その通りにしていました。そしてつい最近もフィルターを洗い、陰干しをしていたのですが・・・今までそういうことはなかったのですが、もうそろそろ乾いているのでは？と思い、本体に取り付けようとしたところ、湿気の臭いを発していることに気が付きました。そこでもう一度洗って、一日、二日と、乾燥させることにしました。けれども乾燥後も臭いが消えることはなく、そのままでした。そうかと言って、掃除もしなければいけないので、再び本体に取り付けて掃除をすることにしました。すると、風の出るところがあって、掃除機をかけるたびにそこから湿気の臭いが出てきてしまい、「うーん、困ったなあ・・・」という感じでした。

どうしよう？と思い、また、同じような現象の人がいるのでは？と思って、HPで検索したところ、案の定、何件かそういう意見が上がっていました。そしてどうもそのまま放置していても、臭いは取れないとのことでした。そうなんだあ、と思いつつ、さらに読み進めていくと、それに関して対処法についてもいくつか載っていました。

中には良さ気だなあ、と思うものもありました。でも、その時に何気なしに「神さま、このままではダメなようです。そして色々方法もあるようですが、でも、もう少し様子を見たいと思います。それでも、もし臭いが消えないようでしたら、こういう方法を使ってみたいと思います」なんてことを一言だけ話しかけてみました。

それから何週間か経って・・・びっくりしたことに、掃除機の使用を何回か重ねていくごとに、湿気の臭いがだんだんと取れ

ていきました。フィルターからもほとんどしなくなったのです。完全ではありませんが、使用している間、ほぼ気にならないくらいレベルになりました。もしかすると、あの時神さまにほんの少しでも語りかけたことにこたえてくださったのでは？と思って、神さまにこのことを感謝しました。

もちろんHP上に書かれていたことは事実でしょうし、良い方法だと思いますが、でも、そうではあっても、まずは神さまに何でも相談してみるのが良いのでは？なんてことを改めて思わされた一件の出来事だったので、証をさせていただきます。さいごに、そのことに関連するワーシップソングの歌詞を紹介して終わりにしたいと思います。

**君は神さまにね、話したことあるかい？**

**心にあるまを打ち明けて、天の神さまはね、君のこと何でも、わかっておられるんだ、何でもね、だから空仰いで、神さまと一言、祈ってごらんよわかるから、おがわのほとりでも、人ごみの中でも、広い世界のどこにいても、ほんとの神さまは、今も生きておられ、お祈りにこたえてくださる**

※『祈ってごらんわかるから』より



掃除機

## 聖書の教えのエッセンス

### <全ての人の人生に2つの定まったことがあります>

それは、どのような人も必ず死ぬこと、さらに死後誰でも必ず神の前で裁き(裁判)の座につくことです。裁判の結果、ある人は永遠の命を受け、ある人は火の池に投げ込まれます。

**ヘブル 9:27** そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばき(裁判)を受けることが定まっているように、

私たちはそのさばき(裁判)を通して、今の人生で犯したあらゆる罪に関して申し開きを行う必要があります。

### <死後多くの人が火の池に投げ込まれます。自分の人生で犯した全ての罪を火の池の罰で償うようになります>



**黙示録 20:15** いのちの書に名のある者でない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

**マタイ7:13** 狭い門からはいりなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこからは行って行く者が多いのです。

私たちはその日、自分の人生で犯したあらゆる罪や、不正、嘘、意地悪、悪口、陰口、非難、不満の罪の代価を全て火の池の罰で払うようになります。

### <神は私たちが滅びに至らないため、救いの道を用意しておられます>



それは、私たちの罪の身代わりとしてキリストが十字架で死なれたという方法です。聖書によれば、キリストは神のひとり子(たった一人の子供の意味)なのですが、神はその命を犠牲にして私たちに救いの道を用意してくださった、ということなのです。以下のことばの通りです。

**ロマ4:25** 主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです。

**ヨハネ5:24** まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。

### <キリストを信じるものは死後、罪のために罰を受けることはない>

**ヨハネ 3:18** 御子を信じる者はさばかれぬ。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったため、すでにさばかれている。

ここに書かれているように、神の御子であるキリストを信じるものはさばかれず、とがめられず、死後火の池の罰に入ることはありません。キリストが私たちの罪の身代わりとして死なれ、罰をうけられたからです。今神に祈り、このキリストを信じ、心で受け入れましょう。神は聞いてくださいます。

聖書に関する有名人のことば：  
アブラハム・リンカーン(合衆国16代大統領)



私はずいぶんと聖書の学びにいそしむできた。そして私は聖書は神のことばであると信じる、何故ならこの本を通して、自分が今どこにいるのかを知ることができるからだ。

<お知らせコーナー>

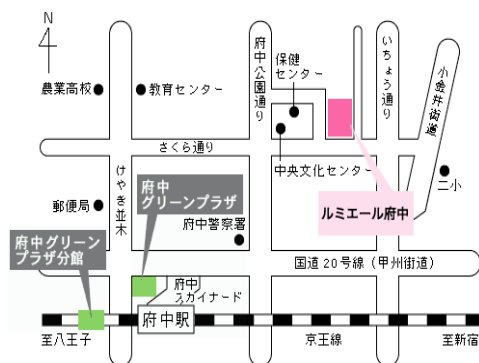
●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日/午前 10:30-12:30,午後 14:00-16:00

場所:東京都、京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館

1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、「レムナントキリスト教会」の部屋を確認ください。

どなたでも来会歓迎、入場無料です。tel:042-364-2327, mail:truth216@nifty.com



★ 教会のHPもあります。

ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。

尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>